

サーチライト With Pastor Jon 創世記 6 章 パート 3

このメッセージはアップルゲート クリスマン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスマン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まるようとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスマン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

イエスが“地獄の本部”に行き、全宇宙に知らせるようにして語ったのは、今後一切、ジョン・コーソンに対して、あなたに対して支配力も権限もないということ。

私たちは、悪魔の抑圧からも占領からも完全に自由です。

悪魔はもはや、あなたと私を縛り、コントロールすることはできません。

なぜか？ 私たちをサタンと結び付けていたものは“罪”

私たちが犯した罪がサタンに、私たちにつけ入る隙を、私たちに繰る力を与えました。

しかし、イエスが私たちの罪のためにカルバリーで十字架にかかって死に、血が流され、代価が支払われて全てが完了したのです。

そして、イエスは墓の中から出て来る前に地獄そのものに行き、「よく聞け！ わたしは地獄の本部で宣言する！ おまへたちにはもう何の権限もない。わたしの血が全ての人間の罪を洗い流したのだ。」

人はどんな罪も冒瀆も赦していただけます。しかし、御霊に逆らう冒瀆は赦されません。(マタイ 12:31)

イエスは、捕らわれの場所で悪霊どもに「今後一切、誰にも手を出すな！」と宣言しただけではありません。

彼は地獄の本部に行き、地獄という地獄の隅から隅にまで、そしてもう既に鎖で縛られている悪霊どもに、「わたしの血が流され罪が清められたからには、おまへたちは彼らに対してはもはや力を持ち得ない！ 彼らはおまへたちから完全に自由になった！」と宣言したのです。ハレルヤ！ これは素晴らしい知らせです。その後ご存知の通り、イエスは復活して現れました。

「ジョン、神の御使いたち、つまり墮天使と人間の女性が性的関係を持ったと言っているけど、それはあり

得ない。不可能だ。」

ボブ・マカリスター (Robert McAlister 1880-1953 カナダの牧師) とレスター・サムロール (Lester Sumrall 1913-1996 アメリカの牧師) の話を知っていますか？

Life がとても興味深い記事を掲載しました。

1952 年、ボブ・マカリスターとレスター・サムロールがフィリピンのマニラで宣教していた時のことです。様々な霊媒やカルト活動に関わっていた 17 歳の少女が、ある問題を起こして刑務所に入れられたのですが、その夜、彼女が泣き叫び始めたので看守たちが行くと、そこで目にしたのは囚人服が引き裂かれ、背中一面が歯型だらけになっている少女。

彼女は「霊が容赦なく執拗に噛みついた。」と主張しました。

当然、看守たちがそんな類の話信じるワケがなく、だけど、自分の背中を噛めないのも明白で、「同室者とのケンカか？」とか何とか言って 2 - 3 日何もしなかったのですが、同じ事が毎晩続き、泣き叫び続けたので、遂に独房に入れました。

しかし、鍵がかけられ完全に遮断された一人だけの独房に入れられていたのに、彼女の背中には日毎に歯形が増えていきます。

少女は、これは悪霊の仕業だと言い張るし、刑務所の職員や看守たちは全く理解できず、すっかり混乱してしまいました。

彼女は独房にいるのだし、これ以上どうすればいいのか分からない。

そこで、少女が言っていることは本当かもしれないと思い始め、当時マニラにいてよく知られていた数人の宣教師たちを呼びます。

それで、マカリスターたち全員が行って、少女を祝福し、イエスの血によって彼女を覆い、サタンの力を縛り、悪霊どもの追い出しを宣言しました。

それ以来、彼女は噛まれることがなくなったのです。

また、この少女は、悪魔のような超人的な力で性的虐待を受けた、とも証言しています。

あり得るでしょう。こういう事は日常茶飯事ではないけれど、珍しい事でもありません。

さて 50 年代、Life といえば有名な雑誌で、この興味深い話が表紙の写真に関連した記事となり、マカリスターや他の宣教師たち、少女の証言が紹介されました。

ところが、これを大きく記事にしたことで、Life は信頼を失ってしまいます。

タブロイドのことを言っているのではありませんよ。

Life は評判のいい信頼された雑誌でしたが、人々は、記録され報告されたこのような現象に当惑したのでした。

「ノアの時代のこの悪霊どもがどうしたって言うんだ？ ちょっと悪ふざけをしただけじゃないか。」

いいえ。

“ネフィリム”の意味は“墮落した者”だということを理解しなければなりません。

これは全て、サタンの邪悪な計画だということを理解すべきです。

以前学んだ“原福音”(創世記 3:15)を、サタンは聞いて知っている。

つまりサタンは、約束の救い主キリストは女の種から出るということを知っており、そして、彼が蛇、サタンの頭を踏み砕くということを知っている。

これを、私たちは理解すべきなのです。明らかにサタンは知っています。

それでサタンの企みは、悪霊との交流を通して人間を汚してしまうこと。

サタンとの関係によって完全に汚され墮落した人間からは、罪のない救世主は生まれて来ることはできないからです。

言い換えれば、全人類を崩壊させてメシアが生まれて来るのを阻もうとする彼らの策略。

女性たちは悪霊どもに自分の体を軽々しく渡して身を任せることに夢中になり、それを彼らがメシアの初臨を阻止するために利用したのです。

「それが今の時代とどう関係するんだ？」

今、ノアの時代のような常軌を逸した性的嗜好が見られませんか？

驚くほどに様々な形で性的言動の暴走が起こっており、私はノアの時代と同じような日、そのような時に生きていると思っています。

2か月前（*1997年）のギャラップの世論調査が **USA Today** に掲載されていますが、**16歳**の少女の内**65%**が処女ではないことを認めています。

アメリカで最も利益を上げている業界はポルノ産業で、この時代は性的秩序が乱れてメチャクチャです。

9歳以下の子供たち**30万人**が、**362社**の主要な児童ポルノ雑誌会社のどこかから半年毎に採用されているのですよ。児童ポルノに利用され、邪悪な大人たちの餌食になるために。

「我々の文化は問題ない。経済も順調だし。」と言うかもしれません。

しかし、水面下での性的倒錯は信じ難いほどです。

今日、アメリカで最大の産業は、航空機でも自動車でも農産業でもなくエンターテインメントです。レコード、映画、スポーツなどなど。

その中で最大に急成長しているのは過激で露骨なポルノ業界。

何が起きているのか知れば知るほど、見れば見るほど、この1か月の間にアメリカ人の**70%**がビデオやテレビで過激なポルノを観ているという統計に納得します。

アメリカの大人の**70%**ですよ！

昔なら変装してトレンチコートに身を隠し、帽子を被ってビデオショップに行っていたのが、今ではもう違います。今はテレビやインターネットで簡単に観ることができ、事実、世界中で何億もの人々がのめり込んでいる。

このアメリカは、セックス産業とセックスそのものに浸り切ってしまっていて、それは、もう信じられないほどの邪悪さです。

搾取されているのは児童ポルノの子供たちに限ったことではありません。

過激なポルノ産業の中で急上昇している収益をパーセンテージで見ると、それは児童ポルノではなくて殺人ポルノビデオ。

以前は非常に珍しかったのに今では人気商品。しかも合法です。

それは、男女がセックスしながら男が女を殺している状況を、観るために撮影していて、実際に、本当に殺している。

これが、驚くことに爆発的に売れていて、全く異常です。

これ以上深くは話しませんが、起きていることはもうメチャクチャ。

これが、セックスから神聖さを取り除いた結果、辿る道なのです。

PG-13 指定の映画（*13 歳未満は保護者の厳重な注意が必要。暴力・恐怖表現・ヌード・卑語などを含むが、マイルドであるもの）を観た時に、そういう場面が二つ三つ出て来たとしても、全体の内容が良ければ気にも留めないでしょう。

しかし、いつの間にか更なる刺激を求め、興味を持って、時折 **R** 指定（*17 歳未満は保護者同伴。卑語、激しい暴力、ヌード、薬物乱用など成人向け要素を確実に含む）を観始めます。

なぜなら、**PG-13** 指定の映画をしばらく観ていると、そういう場面に対して刺激がなくなり何とも思わなくなるから。

そうして、**R** 指定の映画をしばらく観ると、その異常な性描写にも何も感じなくなる。

一度興奮して刺激を受けると、それ以降はもはや同じでは収まらない。

それで、更に深みを求めて **X** 指定へ。（*17 歳以下の鑑賞を全面的に禁止。極めて暴力的、性描写が著しい。

2006 年からは NC-17）

その後は歯止めが利かなくなり、実際に試してみたくなって、不気味な性倒錯の世界に入り込み、カニバリズム（*人間が人間の肉を食べる行動・習慣）や獣姦、その他、どんどん深みにはまってしまふ。

それが、ノアの時代に起こっていたことなのです。どこまで行ってしまったか？

明らかに、人の娘は自分の体を性的に明け渡してしまうほど情欲に燃え、それは非常に邪悪で、彼女たちは抵抗なくカルトにセックスを取り入れました。

私は聖書教師として、ソーシャルオブザーバーとして皆さんにお伝えします。

それは起こり始めていたのですが、もし主が天に留まるなら、カルト活動とセックスがスリルと刺激を求めて混ざり合う、ということがますます激しくなり、その結果は大変恐ろしいものとなるでしょう。

もしあなたが「大丈夫だよ。問題ない。」と言っているなら、それはノアの時代の人たちが言っていたのと同じです。

「我々は飲み食いし、子供らは結婚していく。」と言っている時に異常な性行為が行われ、それが巨人を、巨大な問題を生み出しました。サタンの行為とでも言いましょうか。

それでイエスは「終わりの時もこのようになる」と言ったのです。

「全て上手くいっている。イイ感じ。」とみんなが言っている間も、墮落した闇の世界が存在し、人々は常軌を逸した性行動へとなだれ込んで行く。

それが起こって来ていることを私たちも目撃しています。

それは世の中にも教会の中にも起こっていて、かつては衝撃的だったスキャンダルも、今では気にも留めません。許容範囲になってしまいました。

「結婚生活には喜びを見出さない」と言う人を神は認めません。

結婚生活が喜びであってほしいから、墮落した性倒錯から離れているようにと神は言っているのです。

なぜなら、墮落した性は、人を性倒錯の深みから深みへ、更に深みへと誘い出し、地獄の核へと落としていく下り坂だから。

ですから、きよさを保ちましょう。きよくあるなら喜びがあるのです。

もし妥協してしまって下り坂に立つなら、あなたは地獄の火に焼かれ、絶たれることになります。これが、彼らがしていたこと。このような悪のはびこりを許していることに、神は心を痛めました。もうすぐ終わりますから頑張ってください。

第 1 は爆発的人口増加

第 2 は常軌を逸した性行為

そして第 3 は、創世記 6 章でノアの日実際に起きていたこと。

主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。

(創世記 6:5)

And GOD saw that the wickedness of man *was* great in the earth, and *that* every imagination of the thoughts of his heart *was* only evil continually. (KJV)

第 3 は悪のイマジネーション

時間がないので手短かに、悪のイマジネーションとは何か、かみ砕いて説明しましょう。

そうしたら、本来の意味がイメージとして見えてくるでしょう。

旧約聖書はイメージ（像、型、かたち）について語っていて、イメージとイマジネーションは、基本的には同じ概念です。

悪のイマジネーションやイメージは、絶えることなく心に生じる単なる悪で、私にはどうすることもできません。

しかし、最近のテレビに映し出されるイメージ（映像）が人々に与える影響を思わずにはられません。それは悪以外の何ものでもない。悪そのものです。

月曜日の夜、私は大失敗をしました。防ぐことができたのに。

私は大画面テレビでスーパーボウルの試合を見ようと、妻が作ってくれたポップコーンの大きな器を抱えて、椅子に座って楽しみに待っていました。

その時犯した失敗。本当に大失敗…ちゃんと分かっていたはずなのに。

テレビを見る時にすべきことは、これは私の意見ですが、常にリモコンを手に持っておく。コマーシャルになった瞬間、瞬時にチャンネルを替えられるように。

そうでないと、知らない間に何を見ていることか。関係ないものを。

私はポップコーンを持って座っていたけど、リモコンは持っていなかった。

試合が始まって、私のチームはサイコーです。

すると、すぐにコマーシャルになり、画面は翌日始まるゴールデンタイムの番組の宣伝で、ドラマかショーか何かの一場面を映し始め、私は目を疑いました。

そこでは、男性が女性を抱きしめながらブラウスのボタンを外していき、そこで終わり。

私はリモコンを持ってなくて、座ったままで、びっくりしていました。

これは、月曜日の夜 6 時のフットボール。

男性が女性のブラウスのボタンを外していくのを見ても、恐らくほとんどの人は何とも思っていない。

でも 30 年前なら国を挙げての大問題で、世間も議会もみんなが激しく抗議し、問題視したでしょう。それが今は、誰も何とも思わない。

番組の中の女性は常に着飾っていて首には真珠のネックレス。

帰宅した男性は、家に入って行きながらそういうことをし始める。

ねえ、そんなの、あり得ない。そんなこと、絶対にしませんよね。不可能！

想像する（イマジン）ことさえできません。

それが今は、**その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾く（創世記 6:5）**

家にテレビがあるなら、またはこれから新しく買うなら、いずれにしても私からのアドバイスをはっきり言っておきます。

座ってテレビを観る時は、試合でもドキュメンタリーでも何でも、常にリモコンを手にしておくこと。

そして、コマーシャルに入ったら、すぐに CNN か何か、そんな映像を流さないことを期待できるチャンネルに替えること。

なぜなら、イメージは悪そのものだから。

つづく

「食物は腹のためにあり、腹は食物のためにある」と言いますが、神は、そのどちらも滅ぼされます。からだは淫らな行いのためではなく、主のためにあり、主はからだのためにおられるのです。

（I コリント 6:13 新改訳 2017）

あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。

ですから、自分のからだをもって神の栄光を現わしなさい。**（I コリント 6:20 新改訳 2017）**